

発見！白井の仕事人 31

「農・福・商工連携による取り組みの実現を進める」 株式会社ニッポン食堂

今回は、国道464号沿い、千葉ニュータウン中央駅から鎌ケ谷市方面へ向かった谷田地区にある「株式会社ニッポン食堂」を紹介します。

谷田地区の自然に囲まれた環境の中で、同社は、2009年に、千葉県内や茨城県を中心に農業に研究熱心な農家とのネットワークにより、安全でおいしい旬の野菜や果物を宅配する野菜販売を開始しました。

2013年7月に同場所での「農cafe & shop OMOしろい店」をオープンし、こだわり野菜の直売や、新鮮野菜を使った料理の提供など、農業を核とするカフェとして注目を集めています。

2015年1月には農業生産法人として認可され、現在は周辺の自然豊かな休耕地を活用し、育てやすく加工価値の高い野菜を作っています。5月からは農（農業）・福（福祉）・商（商業）工（加工）連携による取り組みの「たまごのめぐみプロジェクト」をスタートしました。



「たまごのめぐみプロジェクト」の皆さん

代表の宇賀さんは「宅配の野菜販売をきっかけに、農業に関することで『支え合い』『助け合い』『思いやり』を学ぶことができ、念願の障がいのある人や高齢者・生活困窮者などの人たちにも特性を生かした仕事と働き方を提案し、それを可能にするので、雇用の壁を取り除かれ、従業員一人一人が働きやすく、働く意欲や意識を高めていく環境づくりを行っています。

千葉県では、このような障がいのある人を積極的に雇用し、

障がいのある人もない人も共に働いている職場を「千葉県障害者雇用優良事業所（笑顔いっぱいフレンドリーオフィス）」としており、株式会社ニッポン食堂の取り組みが評価され7月に認定されました。

株式会社ニッポン食堂の老若男女・障がい・健常にとらわれないこれからの取り組みに注目していきます。

商工振興課商工振興班 内線3243

発見！白井の仕事人 32

「冬の新たな特産品『じねんじょ』の自然薯」 中村 利男

今回は、木地区で自然薯を栽培している中村利男さんを紹介いたします。



自然薯を栽培している中村さん

中村さんは、夫婦で十数年に渡り自然薯の栽培を行っており、JA西印旛農業協同組合を通して出荷しています。

また、白井市自然薯研究会の一員として、自然薯の栽培技術の向上にも努めています。

自然薯の栽培は、5月下旬から6月上旬にかけて種芋の植栽を行い、6月下旬に柵を設置し11月に収穫します。

自然薯は種芋が肝心です。種芋がよくないと、質の良いものできません。

また、非常にデリケートな作物のため栽培や収穫量を安定させることがとても難しく、贈答用として用いられる形の良いものは収穫量全体の2、3割程度しかできません。

さらに、栽培は天候に大きく

左右されることも多く、強風により蔓が切れてしまい生育が芳しくないなどの影響が出ることもあります。

今年は穏やかな天候に恵まれたおかげで生育も良く、とても

嬉しいものになりそうです。中村さんは、「圃場の地面に

ひび割れが出来る」と自然薯が大きくなってきた証拠。これから寒くなると、栄養を蓄えて、より甘くておいしい自然薯になります。健康にも良く、おいしい自然薯を早く皆さんに届けたいです」と話してくれました。



きれいに管理された日浴びる圃場

そんな農家の人が手塩にかけた栽培した、おいしくて健康にも良い自然薯を皆さんも味わってみたいいかがでしょうか。

※自然薯は11月上旬頃からJA西印旛農産物直売所「やおはあく」で販売を予定しています。☎（498）2007

農政課農政班 内線3252

発見！白井の仕事人 33

「高性能カーボンロールで日本の高機能フィルム産業の優位性を下支えする」 サンレイ工業株式会社

今回は白井工業団地にある「サンレイ工業株式会社」を紹介いたします。

同社は創業以来、独自の製造技術による印刷機向けの金属ロールを製造してきました。

現在では、この独自技術を活用し次世代素材のカーボンを使用した日本で唯一のカーボンロール専門会社です。

サンレイ工業の製造する「高性能カーボンロール」の活躍としては、例えば皆さんが手にしているスマートフォンや薄型4Kテレビなどの液晶パネルの内部にはさまざまな機能を持つ非常に薄いフィルムが何層にも張られているところ。シワがなく厚みが均一の薄膜フィルムの製造過程において、必要不可欠な軽量で高精度な筒状のロールの部分です。



小指で支えられるほど軽いカーボンロール



GTRチャンピオンカー

そのロール本体を形成する主要部分には、ゴルフクラブやテニスラケットなどに使用されているカーボンが使われています。

カーボンは鉄よりも強くアルミよりも軽いため、ロールにするとなわみも少なく高速回転が可能となります。そのため、生産性が向上しコスト低減と優れた耐久性を兼ね備える事ができます。

今年の11月には日本のものづくり業界に貢献した企業に贈られる内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」で「優秀賞」を受賞しました。

カーボンを利用した新たな取り組みでは、東北復興のシンボル「奇跡の一本松保存プロジェクト」にて本体幹芯部の加工を手掛けました。



奇跡の一本松レプリカ

また、昨年から自動車レースの世界にも参入しました。エンジンの動力を後輪に伝達する超軽量カーボンプロペラシャフトをスーパーGT500車両向けに複数チームに供給し、供給先のチームが見事2年連続年間チャンピオンに輝きました。

代表の津覇浩一さんに話を伺うと「弊社には若くて個性豊かな人材が多く在籍しています。常に新しい技術を身につけようと頑張ってくれています。社内グラウンドではスポーツはもとより、花見や暑気払いなど、お客様や家族とのコミュニケーションを深めています。社員全員がオールスターです」とのことでした。

サンレイ工業の高性能で独自性の高い生産技術と次世代を見据えた取り組みに注目していきます。

商工振興課商工振興班 内線3241